

令和4年度

第1回江別市緑化推進審議会

日時 令和4年9月30日(金)

午前10時00分～

場所 野幌公民館研修室3・4号

次第

1 開会

2 生活環境部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議事

(1) 報告事項

報告第1号 次期江別市緑の基本計画の策定について

(2) その他

6 閉会

【配付資料】

報告第1号 次期江別市緑の基本計画の策定について

■江別市緑化推進審議会委員名簿（第13期）

令和3年8月1日現在

□委員の任期：令和3年8月1日～令和6年7月31日（3年間）

（区分ごとの50音順）

区分	氏名	所属団体等
学識経験者	おおはら まさし 大原 雅	北海道大学大学院 地球環境科学研究院 教授
	ごう さとし 郷 敏	野幌森林愛護組合
	こさか しんいち 小阪 進一	酪農学園大学 名誉教授
	みや しゅんすけ 宮 俊輔	国立研究開発法人森林研究 ・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター北海道育種場
市長が必要と認める者 （関係団体等）	かわむら すみこ 河村 純子	江別市女性団体協議会
	きくち いくみ 菊地 郁美	（一社）江別青年会議所
	さか ひろこ 佐賀 弘子	江別市赤十字奉仕団
	たはら ひさお 田原 寿夫	江別市自治会連絡協議会
市長が必要と認める者 （市民公募）	いしざわ まき 石澤 真希	
	ふじおか しょういち 藤岡 章一	
	計10人	

□委員定数：10人

次期江別市緑の基本計画の策定について

目次

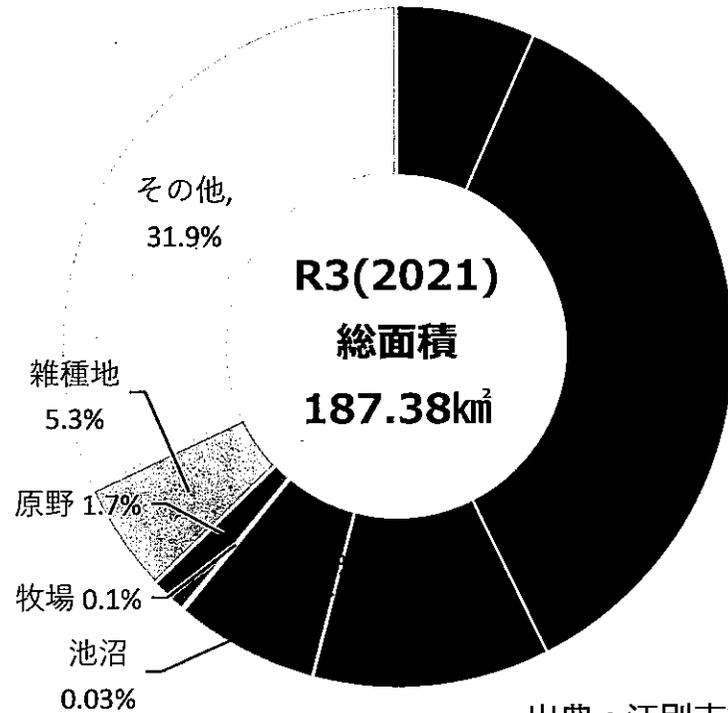
1. 江別市の緑の現況	1
1-1. 緑地の概況	
1-2. 緑地の状況	
2. 市の緑づくりの主な取り組み実績	8
3. 市民の意識・意向から	10
4. 北海道みどりの基本方針(H31)	14
5. 緑づくりの課題（案）	15
5-1. 緑の確保・整備に関する課題	
5-2. 緑の質・機能・役割に関する全体的な課題	
5-3. 緑の質・機能・役割に関する機能別の課題	
5-4. 緑と市民との関わりに関する課題	

1. 江別市の緑の現況

1-1. 緑地の概況

【江別市の地目別面積】

- ・行政面積（＝都市計画区域）
187.38km²のうち田、畑を中心とした農地が43.7%を占めます。宅地は11.4%、山林は6.9%を占めています。



出典：江別市統計書

図1-1 地目別面積割合

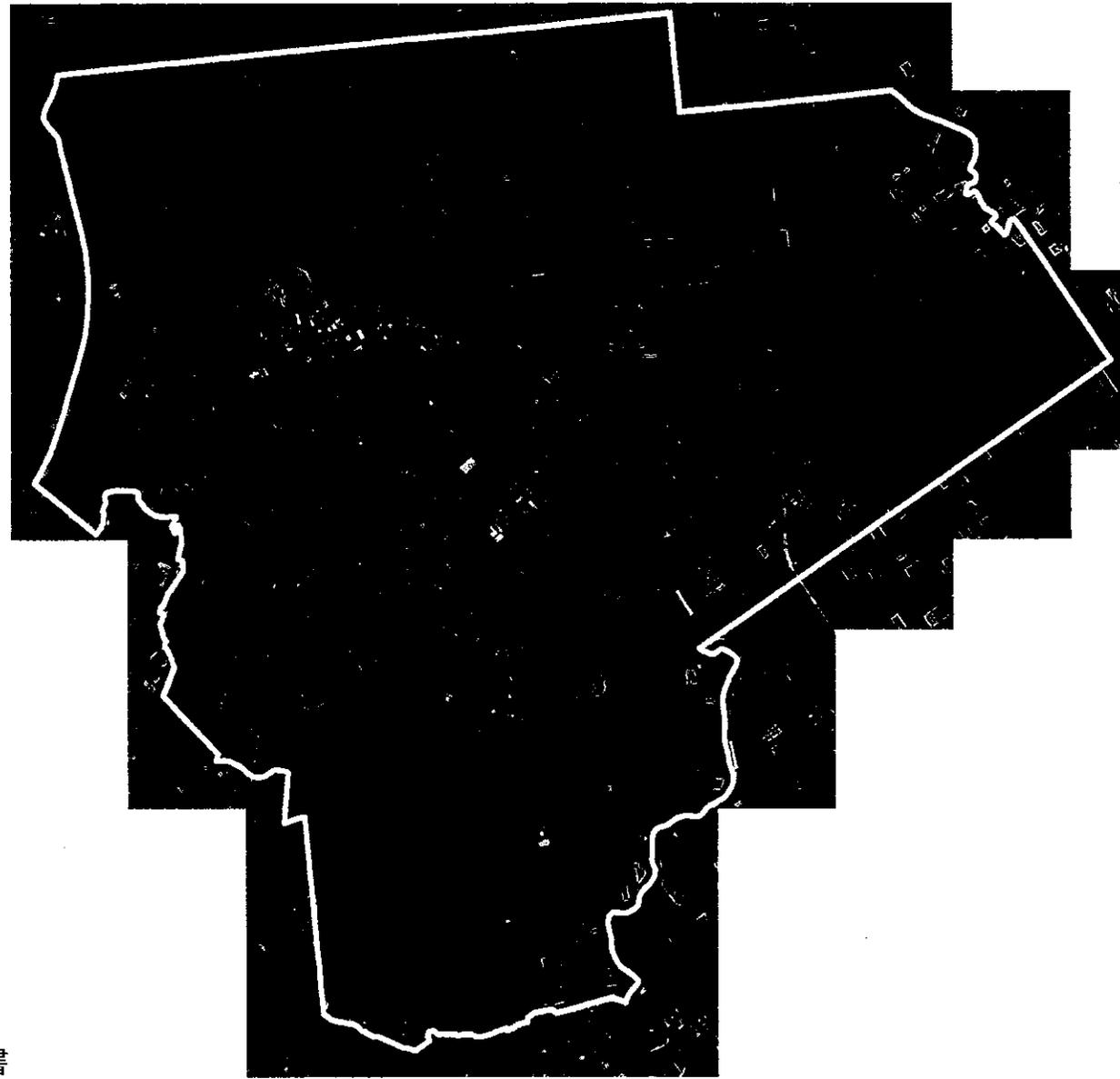


図1-2 令和3年6月9日撮影航空写真より

1. 江別市の緑の現況

1-2. 緑地の状況

- 行政面積（＝都市計画区域）18,738haのうち樹林地は2,893.74ha(15.44%)、草地は2,738.56ha(14.62%)、農地は8,169.42ha(43.60%)を占めています。
- 樹林地、草地、農地、水面、裸地（土がむき出しになっている土地）の合計の緑被面積は、市街化区域内は639.13haで、H24より約119ha減少しています。
- また、行政面積全体では15,233.49haで、H24より約166ha減少しています。

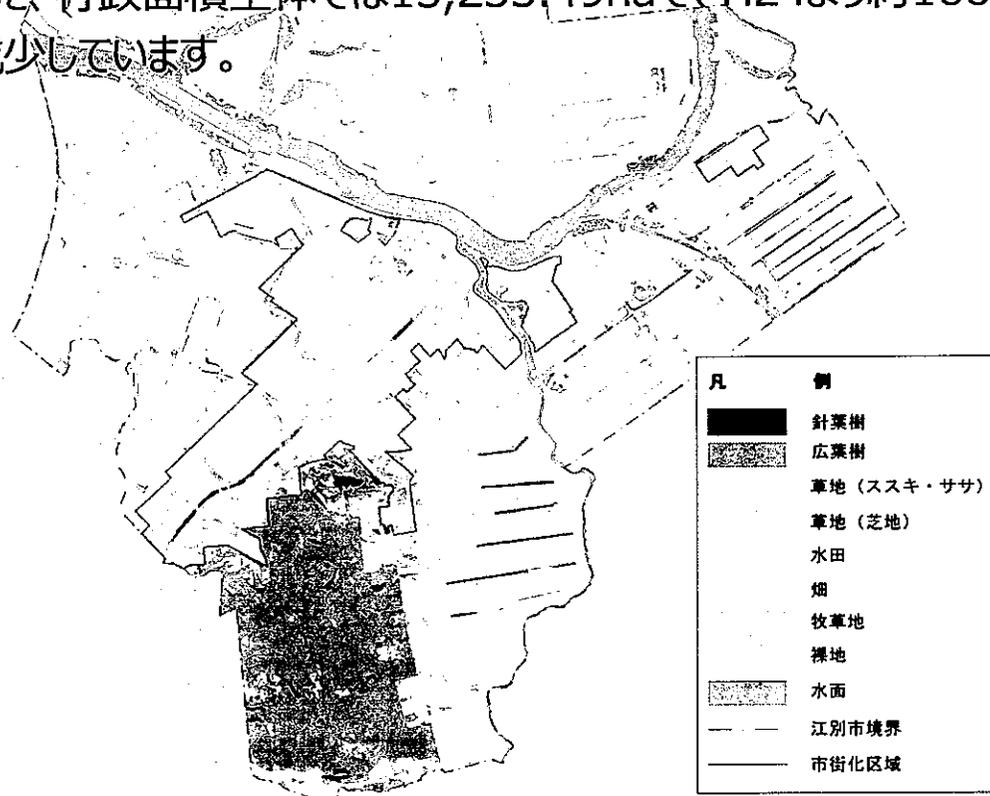
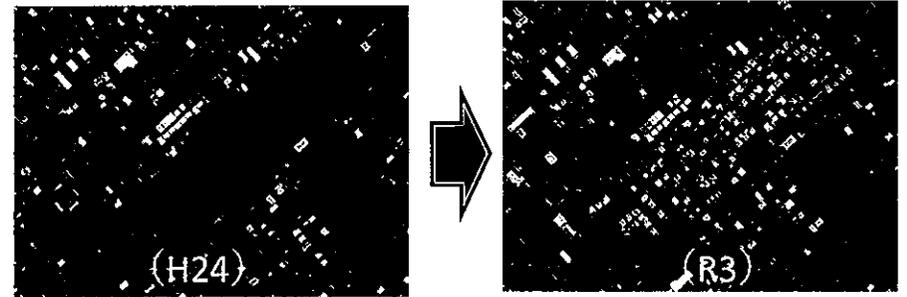


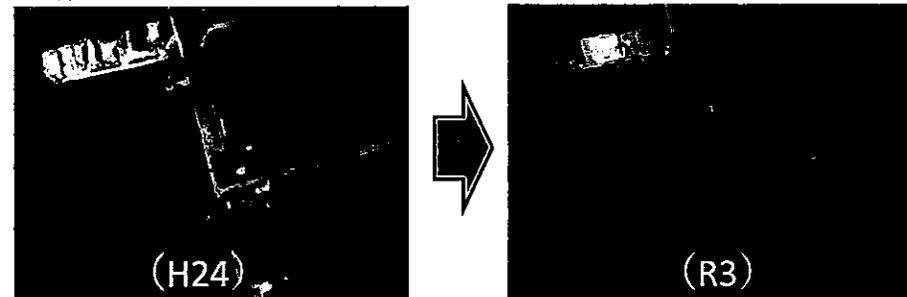
図1-3 江別市域の緑被の状況（令和3年6月9日撮影航空写真より）

《前回（H24）と比べ、変化がみられるところ》

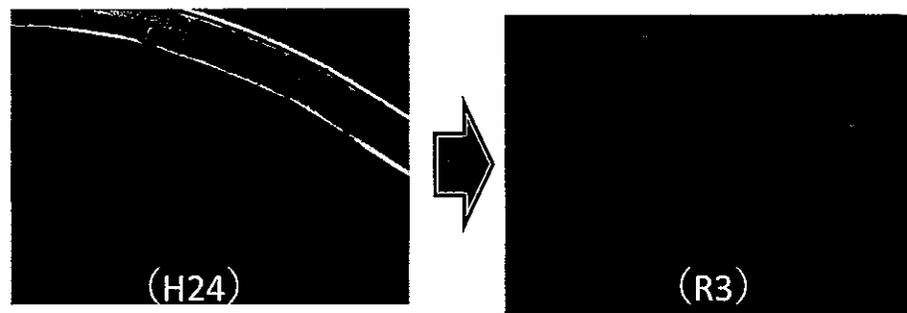
○市街地では、宅地開発による草地等の減少がみられます



○郊外では、大規模太陽光発電施設建設による草地等の減少がみられます



○石狩川付近では、河川敷の樹木の増加がみられます



1. 江別市の緑の現況

【緑地の確保の現状と目標達成状況】

- ・ 江別市の令和3年の総緑地面積は、まち全体（都市計画区域）で5,760ha、市街地（市街化区域）で320haです。
- ・ 令和5年の目標値（まち全体：5,860ha、市街地：360ha）に対しては、ともに未達となっています。

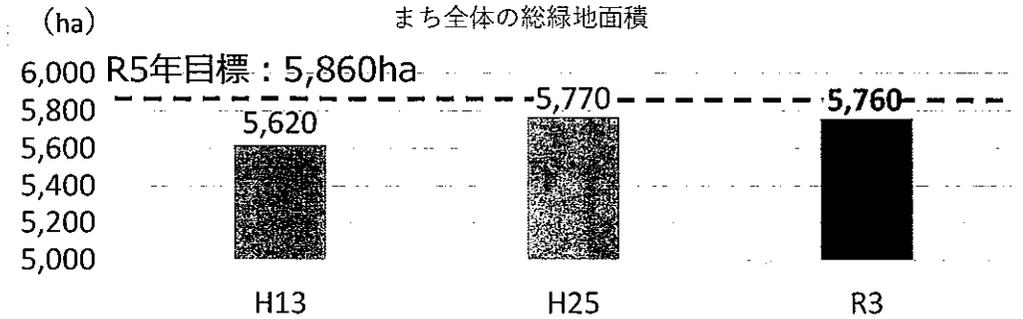


図1-4 まち全体の総緑地面積の推移

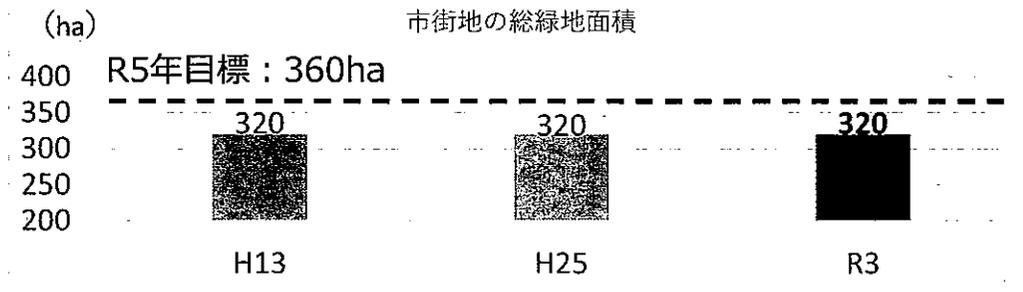


図1-5 市街地の総緑地面積の推移

表1-1 緑地の確保の現状と目標達成状況

項目	H13当初	R5目標	H25時点	R3現況	達成状況
まち全体（都市計画区域）の総緑地面積（ha）	5,620	5,860	5,770	5,760	未達
市街地（市街化区域）の総緑地面積（ha）	320	360	320	320	未達

資料：江別市調べ

1. 江別市の緑の現況

【樹林地率の現状と目標達成状況】

- ・江別市の令和3年の樹林地率は、まち全体（都市計画区域）で約15%、市街地（市街化区域）で約5%です。
- ・令和5年の目標値（まち全体：15%、市街地：7%）に対しては、まち全体に対して達成、市街地に対して未達となっています。

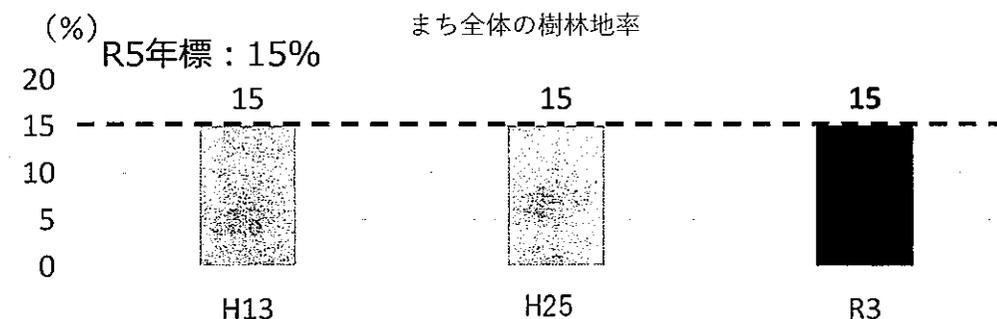


図1-6 まち全体の樹林地率の推移

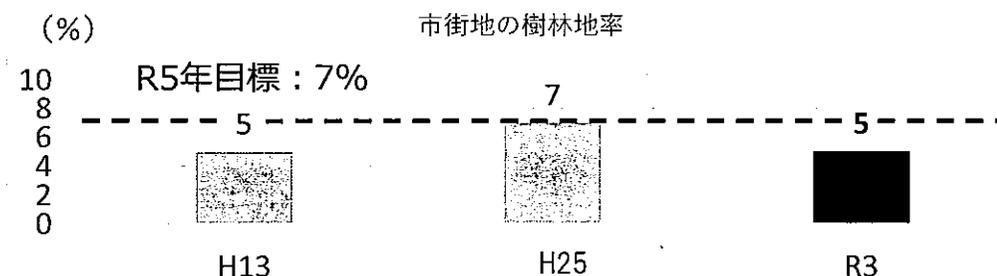


図1-7 市街地の樹林地率の推移

表1-2 樹林地率の現状と目標達成状況

項目	H13当初	R5目標	H25時点	R3現況	達成状況
まち全体（都市計画区域）の樹林地率（%）	15	15	15	15	達成
市街地（市街化区域）の樹林地率（%）	5	7	7	5	未達

資料：令和4年度緑被調査※令和3年の航空写真をもとに調査

1. 江別市の緑の現況

【公園面積の現状と目標達成状況】

- ・江別市の公園の面積は、令和3年で201haです。
- ・平成13年当初の面積（198ha）と比べると20年で3ha増加していますが、令和5年の目標値227haには未達です。
- ・市民1人当たり公園面積は、令和3年で16.82㎡/人です。
- ・平成13年当初の面積（16.19㎡/人）と比べると20年で0.63㎡/人増加していますが、令和5年の目標値19.8㎡/人には未達です。

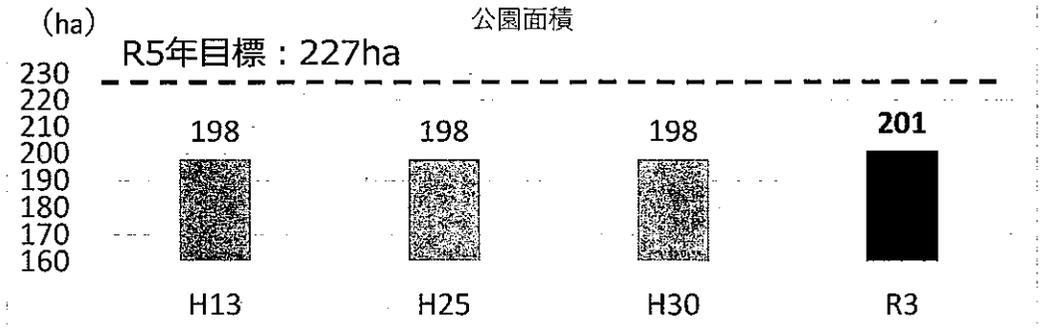


図1-8 公園面積の推移

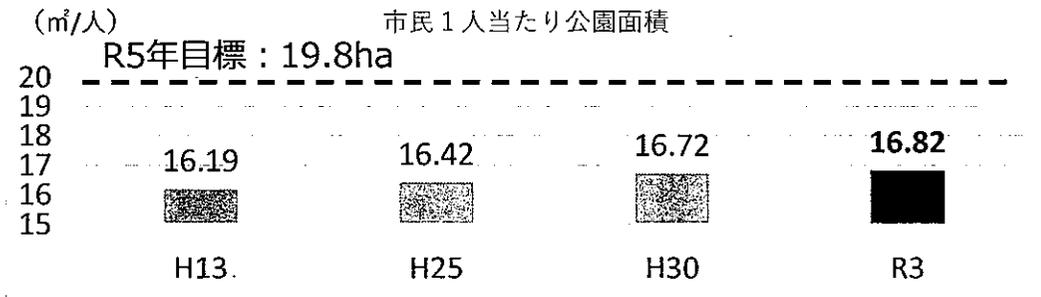


図1-9 市民1人当たり公園面積の推移

表1-3 公園面積の現状と目標達成状況

項目	H13当初	R5目標	H25時点	H30時点	R3現況	現況から目標値までの差
整備する公園 総面積 (ha)	198	227	198	198	201	▲26 (未達)
市民1人当たり公園 面積 (㎡/人)	16.19	19.8	16.42	16.72	16.82	▲2.91 (未達)

資料：江別市調べ

1. 江別市の緑の現況

【地域制緑地（法や条例などで守られる緑地）面積の現状と目標達成状況】

- ・地域制緑地の面積は、令和3年で5,394haです。
- ・平成13年当初の面積（5,240ha）と比べると20年で154ha増加していますが、令和5年目標値5,426haには未達です。
- ・また、中間年次の平成25年（5,406ha）、平成30年（5,399ha）から徐々に減少しています。
- ・地域制緑地のうち、保存樹林面積は、0.50haで、平成13年当初から大きく減少し、目標値に未達です。

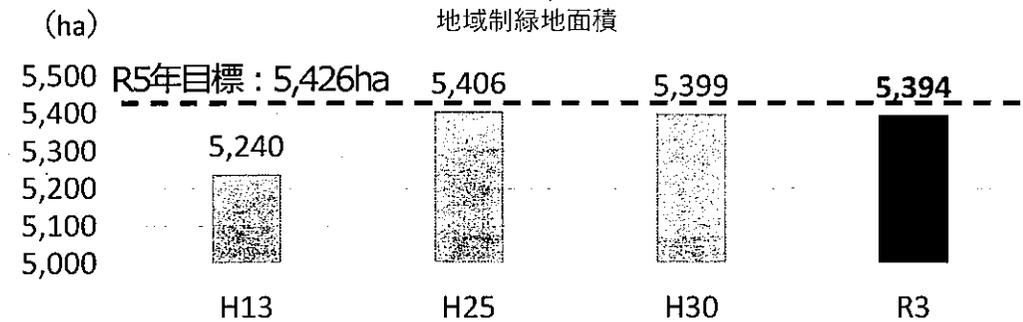


図1-10 地域制緑地面積の推移

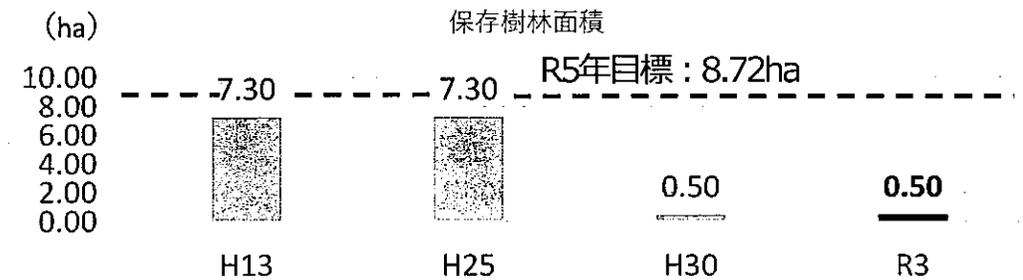


図1-11 保存樹林面積の推移

表1-4 地域制緑地面積の現状と目標達成状況

項目	H13当初	R5目標	H25時点	H30時点	R3現況	R3現況から目標値までの差
法や条例などで守られる緑地面積(ha)	5,240	5,426	5,406	5,399	5,394	▲32 (未達)
上記のうち保存樹林面積 (ha)	7.30	8.72	7.30	0.50	0.50	▲8.22 (未達)

資料：江別市調べ

1. 江別市の緑の現況

【その他の緑の現状と目標達成状況】

- ・江別市の街路樹の総本数は、令和3年で24,100本です。
- ・平成13年当初の本数（15,000本）と比べると20年で9,100本増加しており、令和5年の目標値21,000本を達成しています。
- ・公共施設内樹木の総本数は、令和3年で18,600本です。
- ・平成13年当初の本数（23,000本）と比べると20年で4,400本減少しており、令和5年目標値28,000本には未達です。

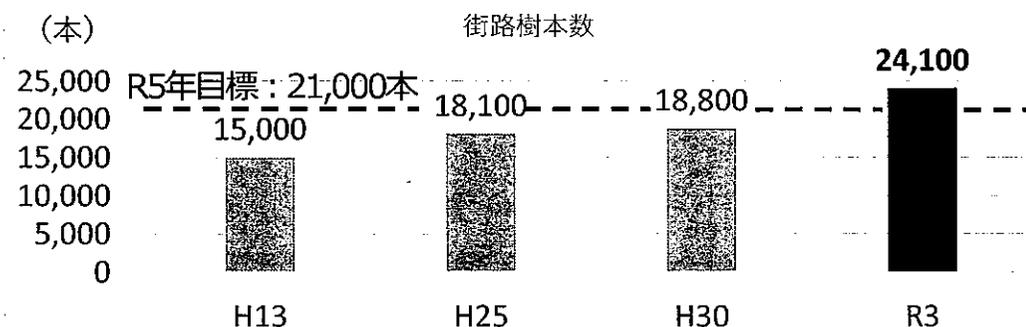


図1-12 街路樹本数の推移

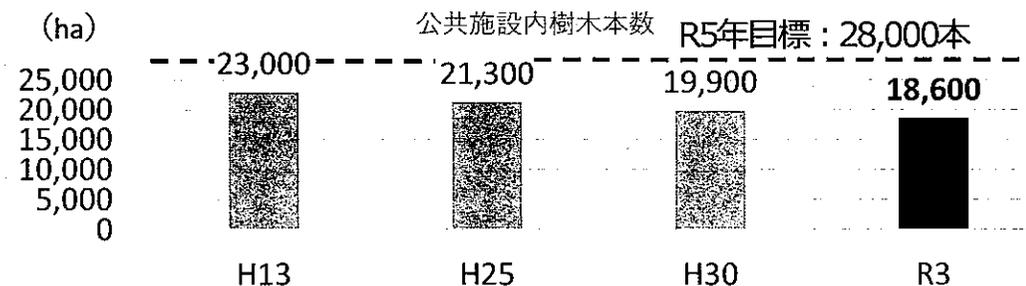


図1-13 公共施設内樹木本数の推移

表1-5 その他の緑の現状と目標達成状況

項目	H13当初	R5目標	H25時点	H30時点	R3現況	R3現況から目標値までの差
街路樹の総本数 (本)	15,000	21,000	18,100	18,800	24,100	3,100 (達成)
公共施設内樹木の 総本数 (本)	23,000	28,000	21,300	19,900	18,600	▲9,400 (未達)

資料：江別市調べ

2. 市の緑づくりの主な取り組み実績

○緑をまもる

- ・野幌森林公園：関係団体と連携し、清掃活動や情報交換を通じた保全
- ・市内3箇所（51.0ha）を環境緑地保護地区に指定
- ・※令和3年に一部指定解除
- ・鉄道林：保存樹木等の所有者による保全・維持
- ・防風林：下草刈、枝落とし、植栽など



昭和の森 野幌森林自然休養林

資料 江別市公式観光情報サイト

○緑をそだてる

- ・野幌中央緑地の整備
- ・野幌駅周辺の緑化推進
- ・野幌東西グリーンモール開通
- ・庁舎周辺、浄化センターの花壇整備
- ・若草町の一部で緑地協定を締結



市庁舎前庭の花植え

資料 江別市HP「フォトグラフえべつ」

2. 市の緑づくりの主な取り組み実績

○緑にふれる

- ・市民植樹、石狩川流域300万本植樹の実施
- ・名木百選ウォッチングの開催
- ・「水辺の自然塾」、「弁天丸・ボートで学ぶ石狩川と千歳川」



名木百選ウォッチングの様子

資料 江別市ホームページ

○緑をひろげる

- ・公園再整備における、市民参加ワークショップの実施
- ・野生生物との共存に向けた情報提供、広報えべつ等での啓発
- ・自治会等への花苗斡旋
- ・緑化専門員の配置



市民参加による公園づくり事業（ワークショップ）

資料 江別市ホームページ

3. 市民の意識・意向から

■ 江別市の環境に関する市民アンケート（令和4年度）より

【緑づくりに関する満足度】

- ・ 緑づくりに関係のある取り組みの満足度をみると、満足、概ね満足の合計の割合は「街並みの緑化の推進」37.0%、「農地の保全と活用」21.3%、「森林などの保全」25.4%、「生態系の保全」19.2%となっています。
- ・ 前回調査（H24）との比較では、「森林などの保全」、「生態系の保全」の満足度が低下しているのに対し、「街並みの緑化の推進」、「農地の保全と活用」は満足度が上昇しています。

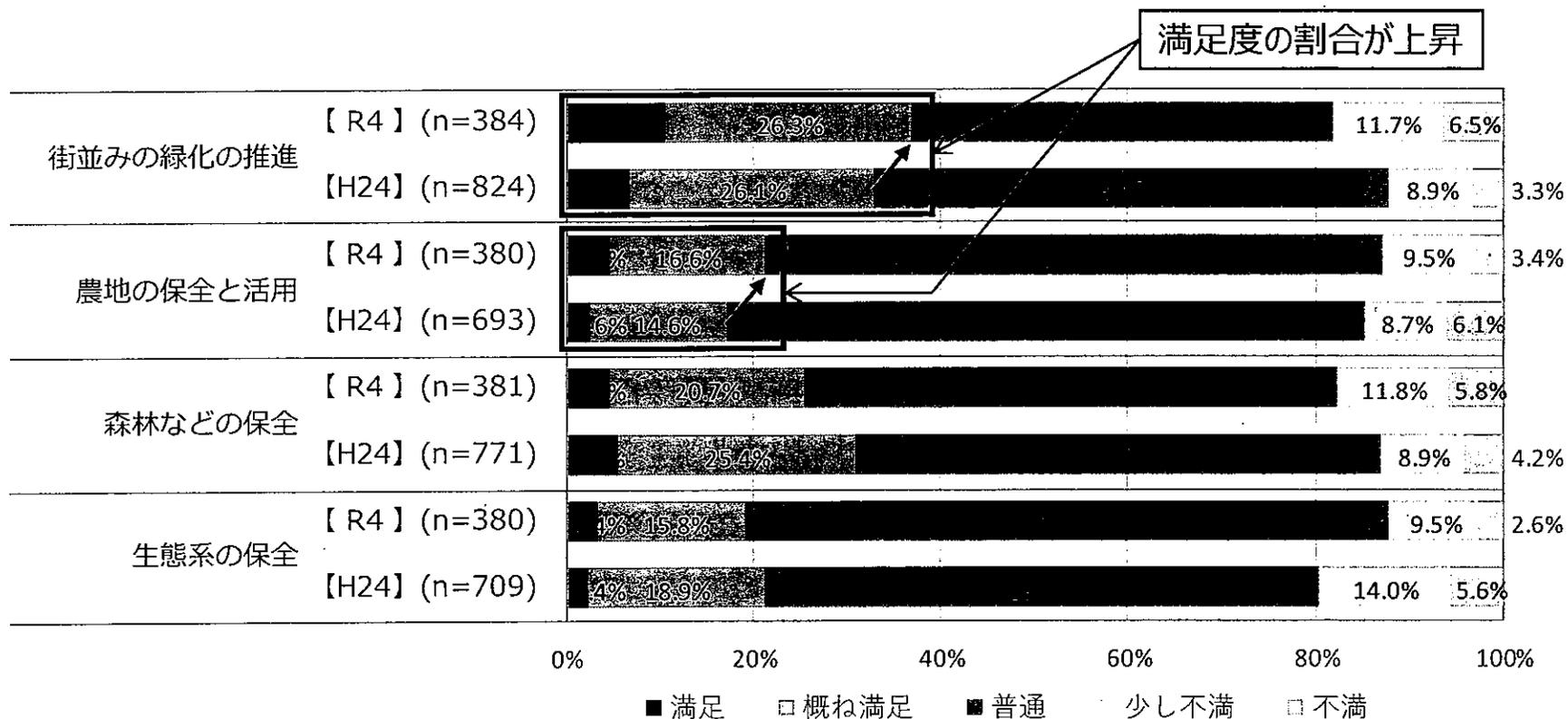


図3-1 緑づくりに関する満足度

3. 市民の意識・意向から

■ 江別市の環境に関する市民アンケート (令和4年度) より

【脱炭素社会に向けて必要な取組み】

- ・ 緑づくりに関係の深い「植樹など市民の身近な緑化の推進や、二酸化炭素吸収源となる森林を適切に維持管理」が22.8%の回答があり、省エネ・再エネ導入やごみの減量・リサイクルほどではありませんが、一定の割合で認知されています。

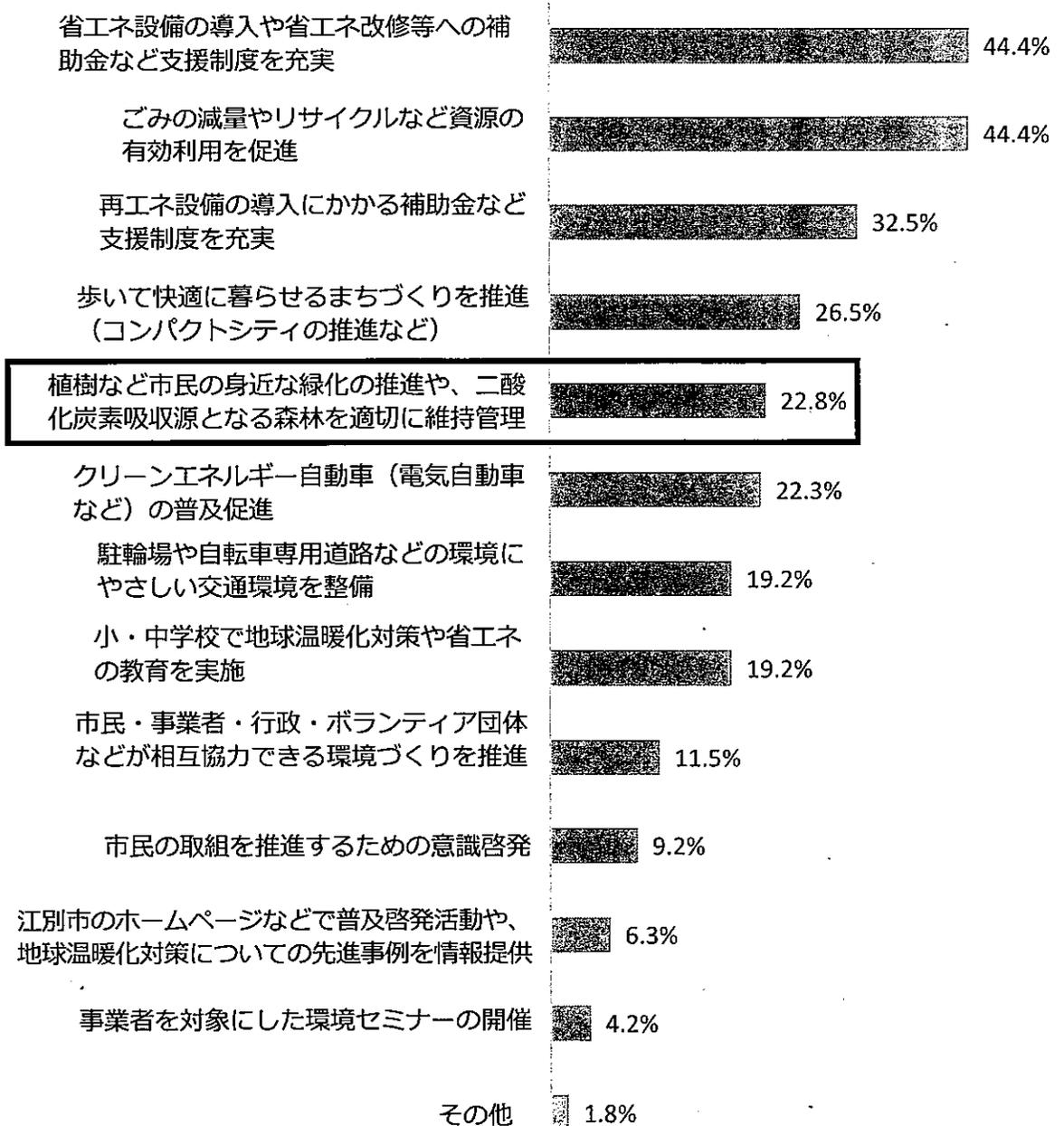


図3-2 脱炭素社会に向けて必要な取組み

N=381

3. 市民の意識・意向から

■まちづくり市民アンケート (令和3年度) より

【緑の取り組みで大切だと思うこと】

- ・「二酸化炭素の吸収のため、野幌森林公園、公園緑地等の樹木の保全」が46.6%を占め最も多く、次いで「地球温暖化や自然環境の保全などに理解を深める環境教育の推進」28.9%となっています。

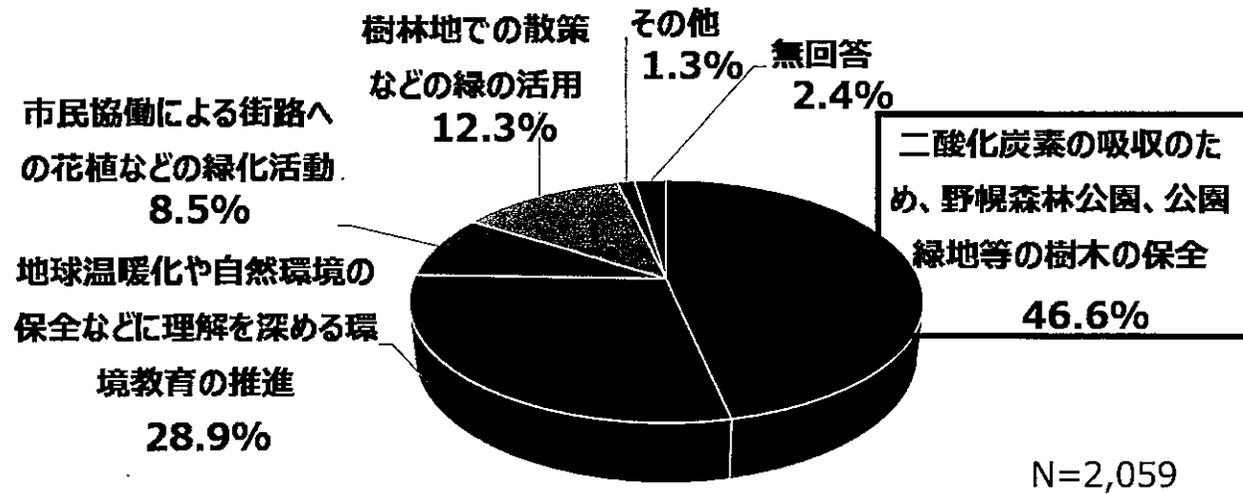


図3-3 緑の取り組みで大切だと思うこと

【今後行ってみたい緑に関わる取り組み】

- ・「自宅の緑化（庭やベランダの植栽、家庭菜園など）」40.3%が最も多く、次いで「公園の清掃活動や花の管理などの保全活動」11.6%、「街路の花壇などの緑化活動」10.9%、「自然環境保全などをテーマにした環境講座の参加」8.6%となっています。

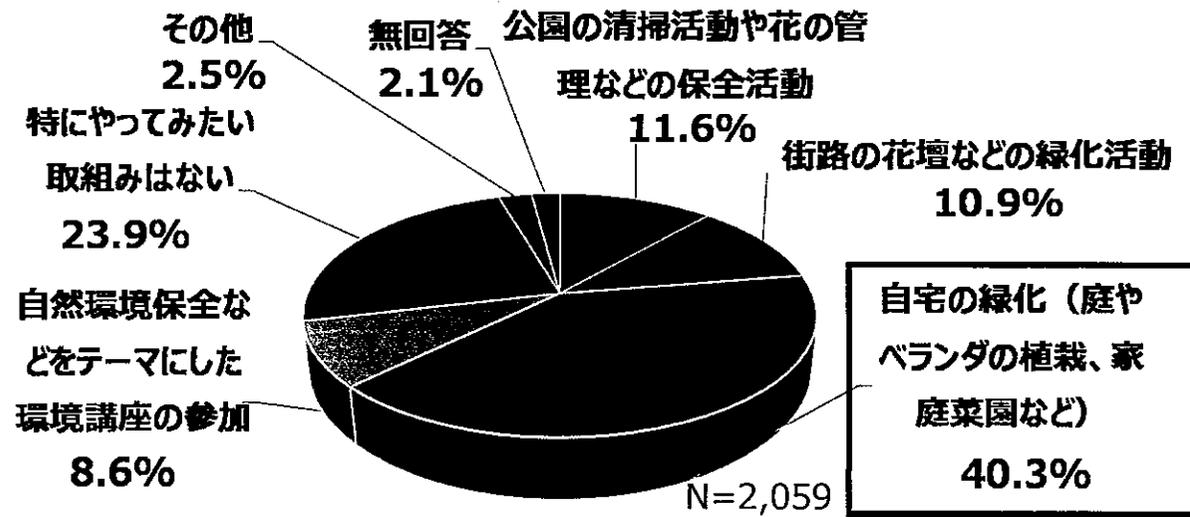


図3-4 今後行ってみたい緑に関わる取り組み

3. 市民の意識・意向から

■まちづくり市民アンケート (令和3年度) より

【公園の取り組みで力を入れてほしいもの】

- ・「防災のための公園緑地の整備」
33.1% が最も多く、次いで「市民意見を取り入れた公園施設の整備」
27.4%、「樹木の保全管理」21.9%、
「利活用の少ない公園の統廃合や機能の集約」12.5%となっています。

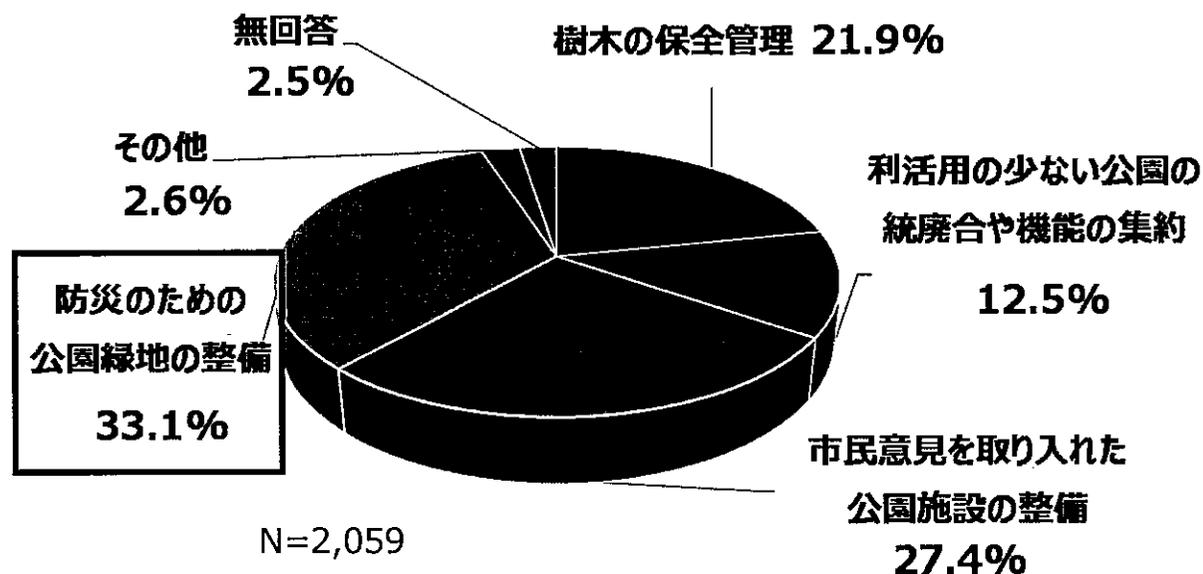


図3-5 公園の取り組みで力を入れてほしいもの

○市民意向のまとめ

- ・これまでの評価については、森林や生態系の保全よりも、農地の保全活用の評価が上がっており、農地を生かした取り組みが普及・認知されつつあることが伺えます。
- ・緑全体については森林の二酸化炭素吸収源としての役割、公園については防災や市民ニーズのとり入れといった、質的な充実を期待する意見が多く、これらに対応した緑づくりを進める必要があります。
- ・参加したい緑づくりの取り組みは、身近なところからできる自宅の緑化が多くを占めています。

4. 北海道みどりの基本方針(H31)

【北海道みどりの基本方針の概要】 ～次期江別市緑の基本計画の策定にあたり、参考になる考え方を抽出

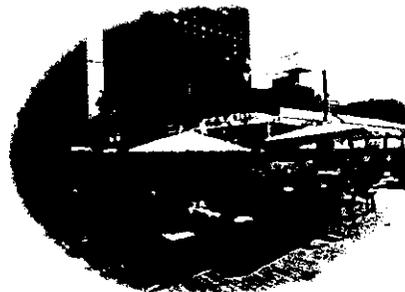
これからの都市の「みどり」のあり方について

- 「量を確保する時代」から、「質を向上する時代」へ
 - ・「みどり」が持つストック効果（多面的な機能・効果）の創出
 - ・人口減少・高齢化に対応した持続可能な都市づくりに向けた取り組み
- 官と民の連携による取り組み
 - ・これまでの取り組みを更に一歩進め、民の力・知見を最大限に活かし、市民や事業者が主体的に緑の管理運営に関わる
- 緑を柔軟に使いこなす取り組みの実践
 - ・画一的な整備・管理運営とならないよう、地域の特性やニーズを十分に把握、反映
 - ・緑地と子育て支援、福祉、農業など、多様な分野の取り組みとの連携

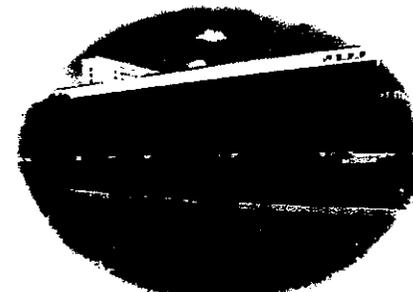
緑の基本計画の策定・改訂にあたって

以下の観点で計画の内容を充実化・高度化させることが重要。

- 「みどり」が持つストック効果
 - ・今ある緑の多面的な機能・効果を最大限に発揮させる考え方が重要



にぎわいの場
大通公園（札幌市）



美しい景観の創出
あさひかわ北彩都ガーデン（旭川市）

- 都市公園をより柔軟に使いこなす
 - ・単なるレクリエーションの場としてだけでなく、例えば公園内に子育て支援の拠点や歴史・文化の継承拠点をつくるなど、様々な観点で公園を使いこなす役立てていく考え方が重要

5. 緑づくりの課題（案）

5-1. 緑の確保・整備に関する課題

- ・「量的に充足している」認識に立ち、今ある緑の適切な保全及び維持管理が必要
- ・市の財政規模にあった維持管理、更新費用の平準化、最適化が必要
- ・都市や地域の課題解決や、地域のまちづくりに貢献する緑の役割は今後も大きい

5-2. 緑の質・機能・役割に関する全体的な課題

- ・これまでの緑の機能をさらに掘り下げ、防災・減災や地域活性化、少子高齢化対応など、地域の課題解決に貢献する緑づくりが必要
- ・合わせてSDGs、脱炭素まちづくり、生物多様性といった国際的な取り組み・枠組みへの貢献も意識していくことが必要

5. 緑づくりの課題（案）

5-3. 緑の質・機能・役割に関する機能別の課題

○環境保全系統

- ・野幌森林公園、石狩川や周辺の池沼、鉄道林、防風林といった骨格的な緑の保全と活用
- ・環境学習、自然とのふれあい、農地を活かした交流に資する緑の維持保全
- ・市街地も含めた人と自然の共生する環境の形成・維持

○レクリエーション系統

- ・スポーツ・レクリエーションの核となる緑地の適切な確保
- ・市民の健康増進、コンパクトで歩いて暮らせるまちづくりに資する、緑のネットワークの確保

○防災系統

- ・これまでの避難場所・避難路の確保や市街地内の延焼防止に加え、水害、土砂災害のリスク低減に資する緑の適切な維持・保全

○景観構成系統

- ・生活拠点や交流の場、産業活動の場における、効果的な緑の活用
- ・江別らしい街並み・風景を彩る緑の保全や緑化

5. 緑づくりの課題（案）

5-4. 緑と市民との関わりに関する課題

《参加・協働》

- ・官民連携を含めた緑の維持管理・更新が必要
- ・地域や事業者の創意工夫による花づくり、緑づくりの拡大

《利活用》

- ・野幌森林公園や石狩川での活動・交流の場の継続的な確保
- ・農地を活かした交流に資する活動の場のさらなる確保
- ・コミュニティ維持や地域の活性化に資する緑の活用

《情報提供、担い手・体制づくり》

- ・既存の広報・ホームページに加え、SNS等多様な手段による情報提供のさらなる工夫
- ・市固有の緑資源を学びの場としていかした緑の保全・緑化の意識醸成